

令和6年度第2回埼玉県スマート農業普及推進研究会 議事概要

1 日 時：令和7年3月18日（火） 14時00分～16時15分

2 場 所：オンライン

3 出席者：

【委員】澁澤会長、萱野委員、重松委員、船川委員、木村委員、齋藤委員、
内田委員、強瀬委員、高橋委員、横塚委員

4 議事概要

(1) スマート農業普及推進事業（実証事業）の成果について

令和5年度に実証事業が完了した7課題について、担当職員から実証成果の発表を行い、各委員から成果への質疑や意見交換を行う形式で実施。

ア 熊谷市主穀農家の実証成果について

設置ほ場における管理作業の大幅な省力化と費用対効果を考慮すると導入価格が高いという結果が報告された。今後の導入に当たっては、周辺田んぼを類型化して、周囲のほ場の状況把握に応用するなどの工夫が求められるとの意見があった。

イ 加須市主穀農家の実証成果について

ロボット田植機による作業省力化や可変施肥を実施し、収量ムラの改善や増収効果といった結果が報告された。可変施肥による肥料費の削減効果の検討があると更によいとする意見があった。

ウ 鴻巣市主穀農家の実証成果について

自動操舵及び不耕起は種機による労働時間削減効果について結果の報告があり、自動操舵による燃料費の削減効果や、自動操舵の作業精度等の分析について意見交換が行われた。

- エ 行田型スマート農業実証チームの実証成果について
自動操舵システムの導入による労働時間削減効果について結果の報告があり、RTK基地局の活用・普及状況に関する意見交換が行われた。
- オ 本庄市主穀農家の実証成果について
収量コンバインによる減肥効果について結果の報告があり、減肥の判断基準とする収量や収量マップの活用方法に関する意見交換が行われた。
- カ 本庄市露地野菜農家の実証成果について
直進アシスト機能付きトラクタの導入による作業時間の削減効果や品質向上効果について報告があった。従業員でも作業が実施できるようになる旨を資料でもっと強調した方がよいという意見や、故障時のメーカー等のサポート体制に関して意見交換が行われた。
- キ 三芳町露地野菜農家の実証成果について
直進アシスト機能付きトラクタの導入による労働時間の削減効果や疲労軽減効果について報告があった。作業と農機のマッチングや農機の作業精度に関する意見交換が行われた。
- (2) スマート農業普及推進事業（実証事業）の進捗状況について
令和6年現在で実証事業を継続中の10課題に関して、進捗状況の報告を行った。
- (3) 未来型果樹園実証展示事業及び施設園芸パイオニア技術推進事業の進捗状況について
令和6年度の未来型果樹園実証展示事業及び施設園芸パイオニア技術推進事業の進捗状況について報告を行った。
- (4) その他
令和6年度をもってスマート農業普及推進研究会の活動は終了する。令和7年度からは当研究会と埼玉県スマート農業普及推進協議会を機能統合し、新たな組織を設置して引き続き実証等を行う旨説明した。

以上